

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	I T S を活用した特殊車両管理システム基本検討業務
業 務 概 要	本業務は、特殊車両の通行監視の充実、違反防止対策及び運行管理支援等の特殊車両管理の高度化に向け、特殊車両管理の高度化の将来イメージ及び、プローブ車載器を活用した特殊車両通行の経路監視を実現するシステム構想及び仕様検討等を実施する。
契 約 担 当 官 等 の 氏 名 並 び に そ の 所 属 す る 部 局 の 名 称 及 び 所 在 地	分任支出負担行為担当官関東地方整備局高崎河川国道事務所長 群馬県高崎市栄町 6 - 4 1
契 約 年 月 日	平成17年11月29日
契 約 業 者 名	財団法人 道路新産業開発機構
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区築地 7 丁目 1 7 番 1 号
契 約 金 額	2 4 , 2 6 5 , 5 0 0 円 (税 込 み)
予 定 価 格	2 4 , 7 4 8 , 5 0 0 円 (税 込 み)
随意契約によることとした理由	本業務の遂行にあたっては、国土交通省で検討が進められているDSRC(狭域通信システム)技術を活用したプローブ車載器の標準仕様及び、道路法の車両制限令や特殊車両自動計測装置を熟知した上で、DSRC技術を活用することによる特殊車両管理の高度化の具体化と課題・対策等の検討が必要であり、幅広い経験と高度な専門知識とともに中立公平な立場からの検討が必要とされる。財団法人道路新産業開発機構は、道路に関する新しい産業分野についての調査研究を行うとともにその開発プロバラムを策定すること等により、道路機能の健全な発展と道路整備の拡充に貢献し、もって国民経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目的として設立された公益法人である。また、同法人はDSRCに関する仕様、規格の策定やDSRC技術の活用に関する研究に取り組むとともに「DSRC普及推進検討会」の事務局となっており、これらの施策展開、DSRC技術及び特殊車両自動計測装置に関する高度な知識と豊富な経験を有していることから、本業務を遂行するに必要な要件を備えた契約対象機関であるため。
業 務 場 所	高崎河川国道事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	平成17年11月30日
履 行 期 間 (至)	平成18年3月20日
備 考	

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。